

建設時の浚渫図

●1986(S61)～2001(H13)年の(16年間)浚渫量の総計は、約808万 m^3 である。

直轄施工 約281万 m^3

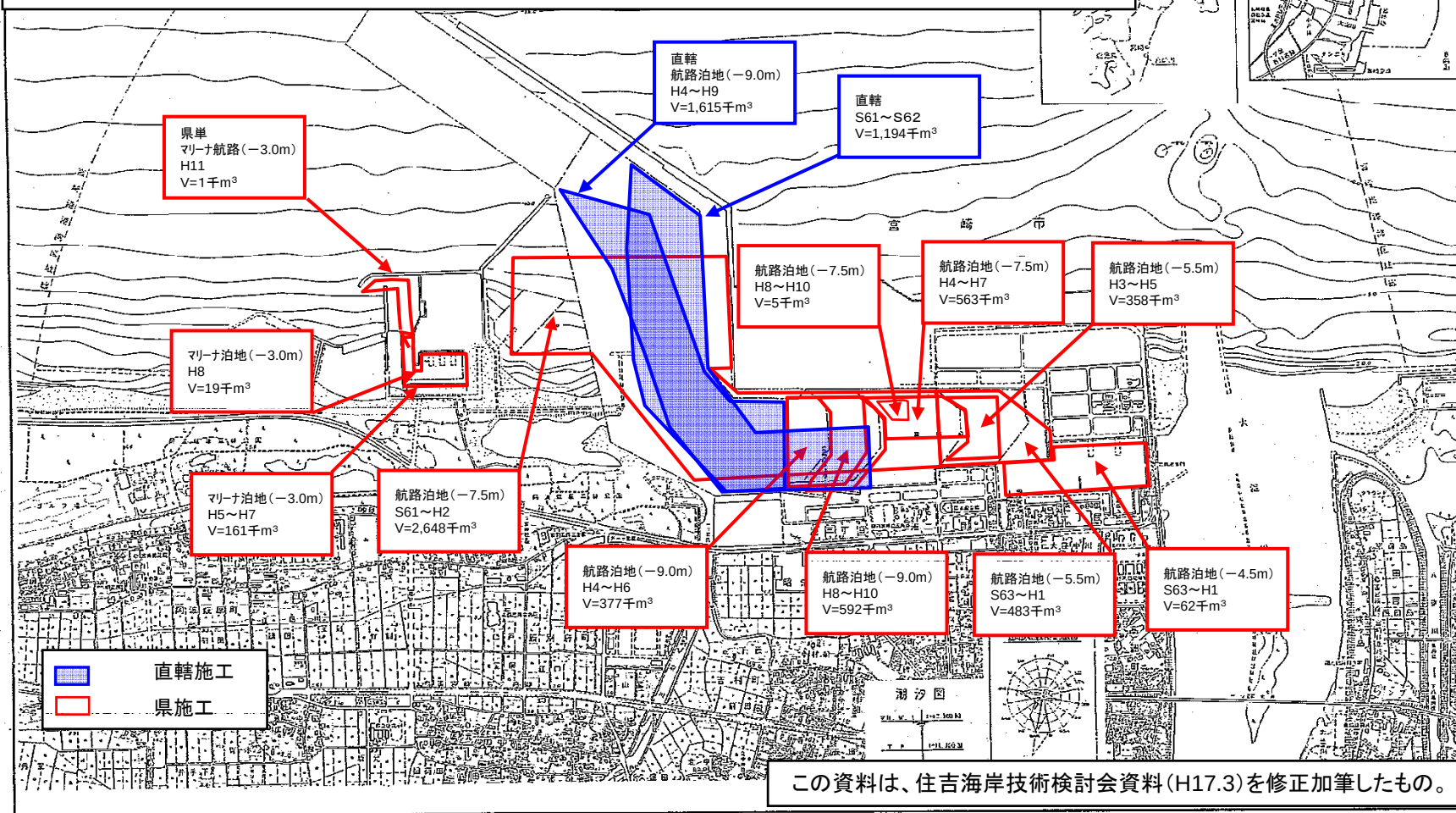
県施工 約527万 m^3

宮崎空港埋立 179万 m^3

宮崎港埋立 629万 m^3

港 湾 位 置

宮 崎 県 宮 崎 市



維持及び災害復旧の浚渫図

●1992(H4)年～2007(H19)の維持及び災害復旧による浚渫量の総計は、約43万 m^3 である。

●航路部分の維持及び災害復旧による浚渫の実績はない。

沖捨て

宮崎港沖15km

養浜

大炊田海岸

住吉海岸

沖捨て 20万 m^3

仮置き 8万 m^3

養浜 15万 m^3

マリーナ航路(-3.0m)
H14~H19
V=95.2千 m^3

港内仮置き

泊地(-4.5m)
H6, H13
V=16.3千 m^3

南航路(-3.5m)
H6, H16, H17, H18
V=209.7千 m^3

港内仮置き

航路泊地(-9.0m)
H
V=1.6千 m^3

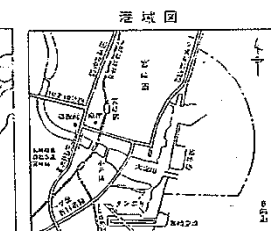
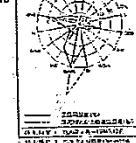
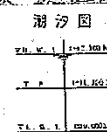
岸壁(-7.5m)
H15
V=0.7千 m^3

泊地(-1.0m)
H11, H17
V=2.2千 m^3

泊地(-2.0m)
H14
V=0.4千 m^3

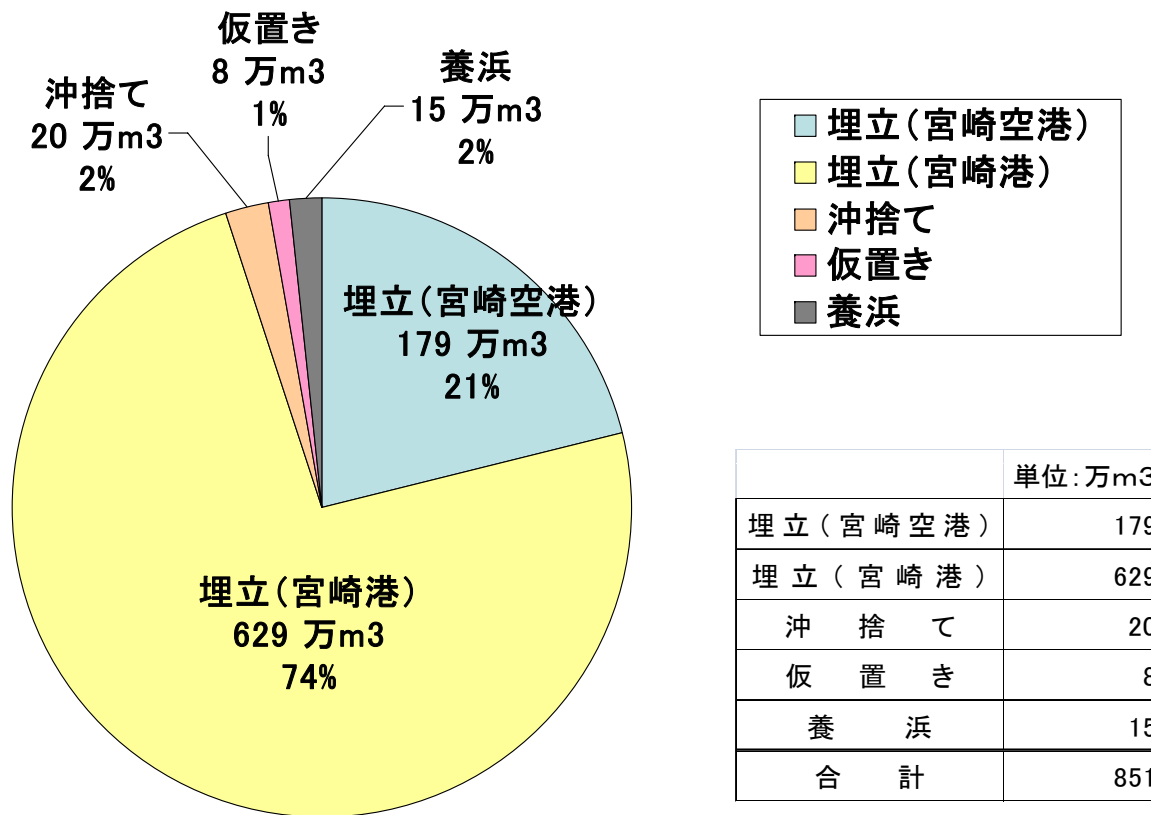
航路(-2.0m)
H4, H5, H6, H8
V=107.3千 m^3

県施工



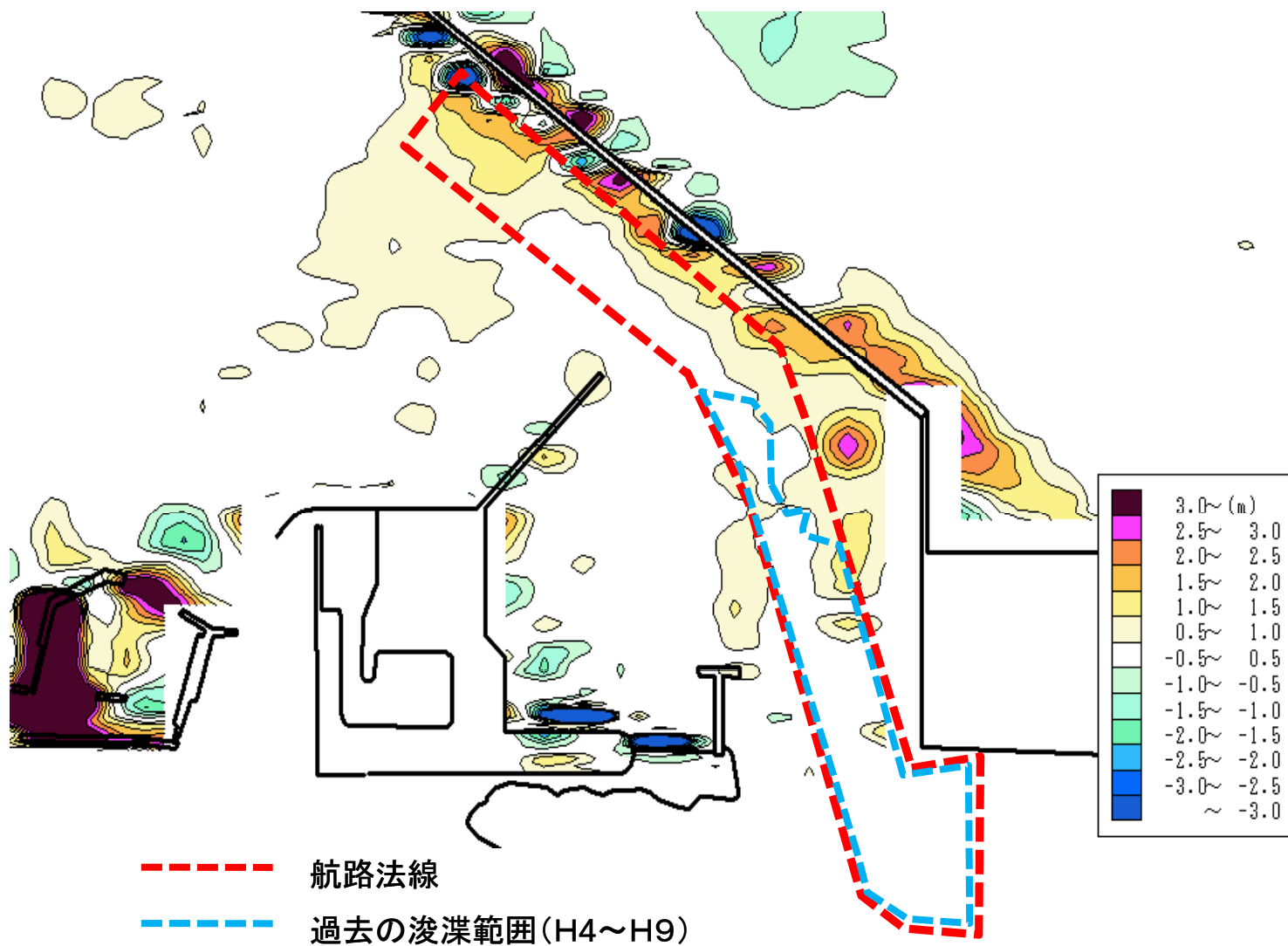
浚渫土砂の処分方法

(建設時＋維持・災害復旧)

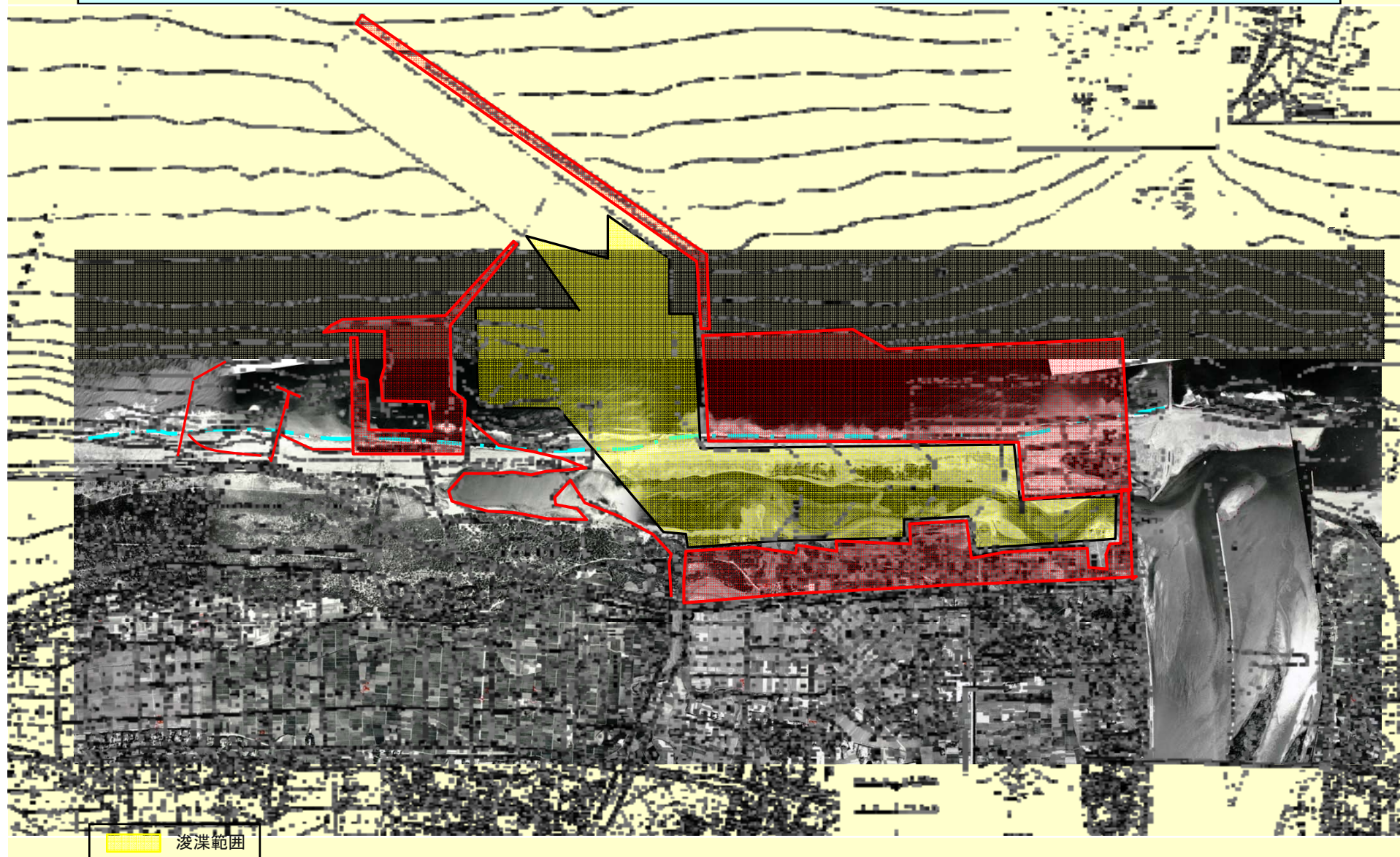


宮崎港の土砂堆積状況

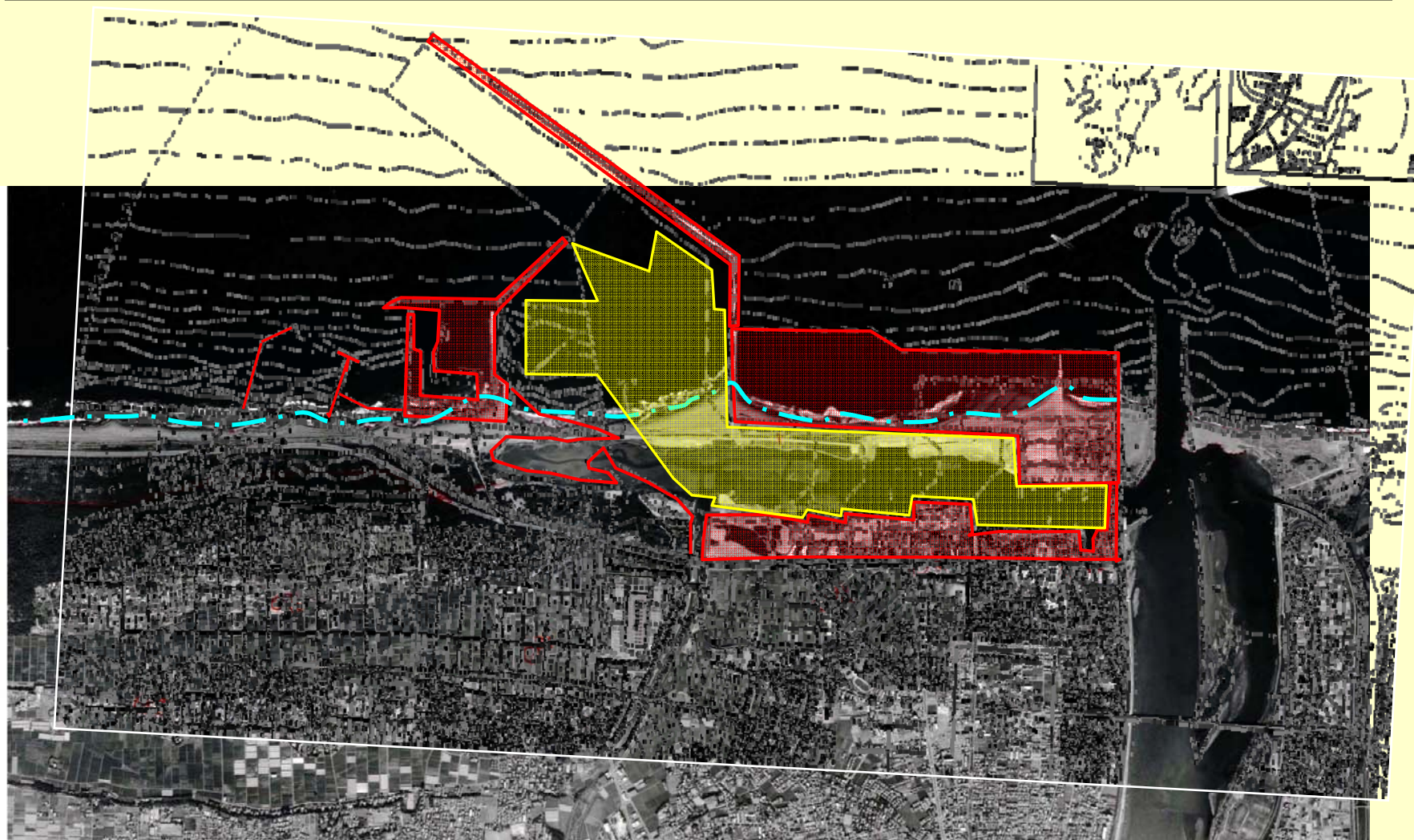
(H11.2 と H18.1の比較)



昭和37年と現在の比較

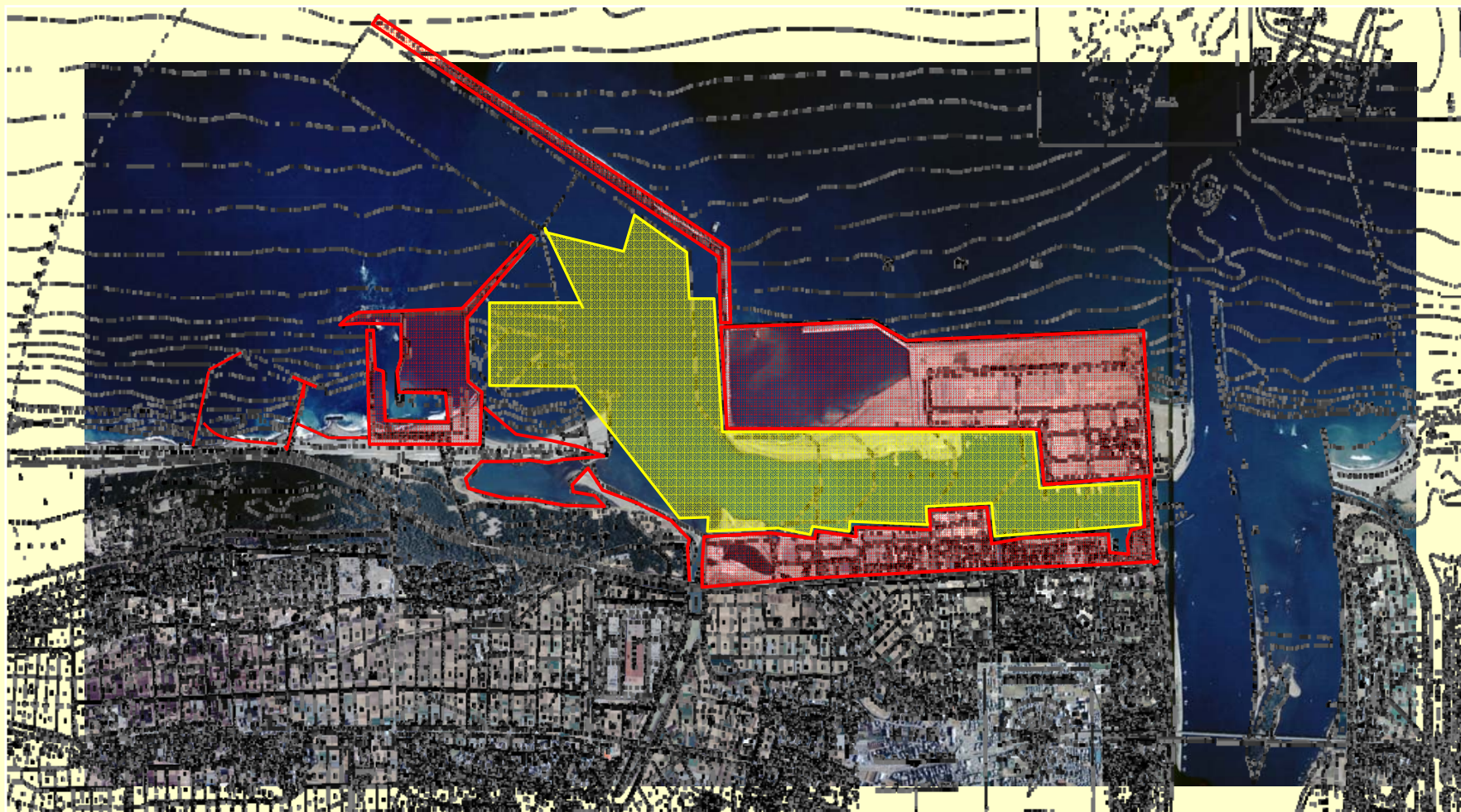


昭和61年と現在の比較



黄緑色 浚渫範囲

平成5年と現在の比較



浚渫範囲